

近隣における地盤調査資料

令和2年7月

大熊町

平成27年度調査

断面位置図

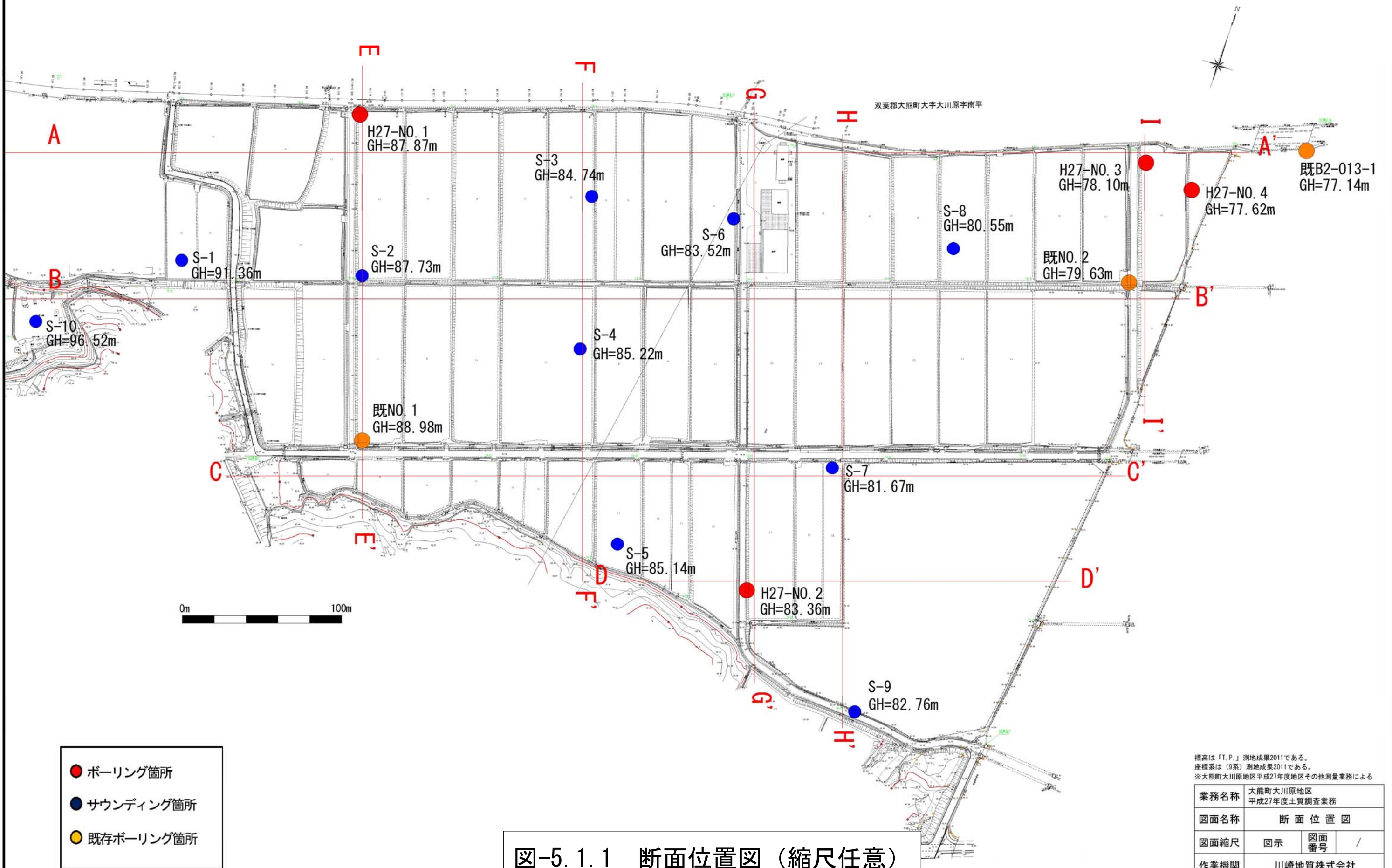
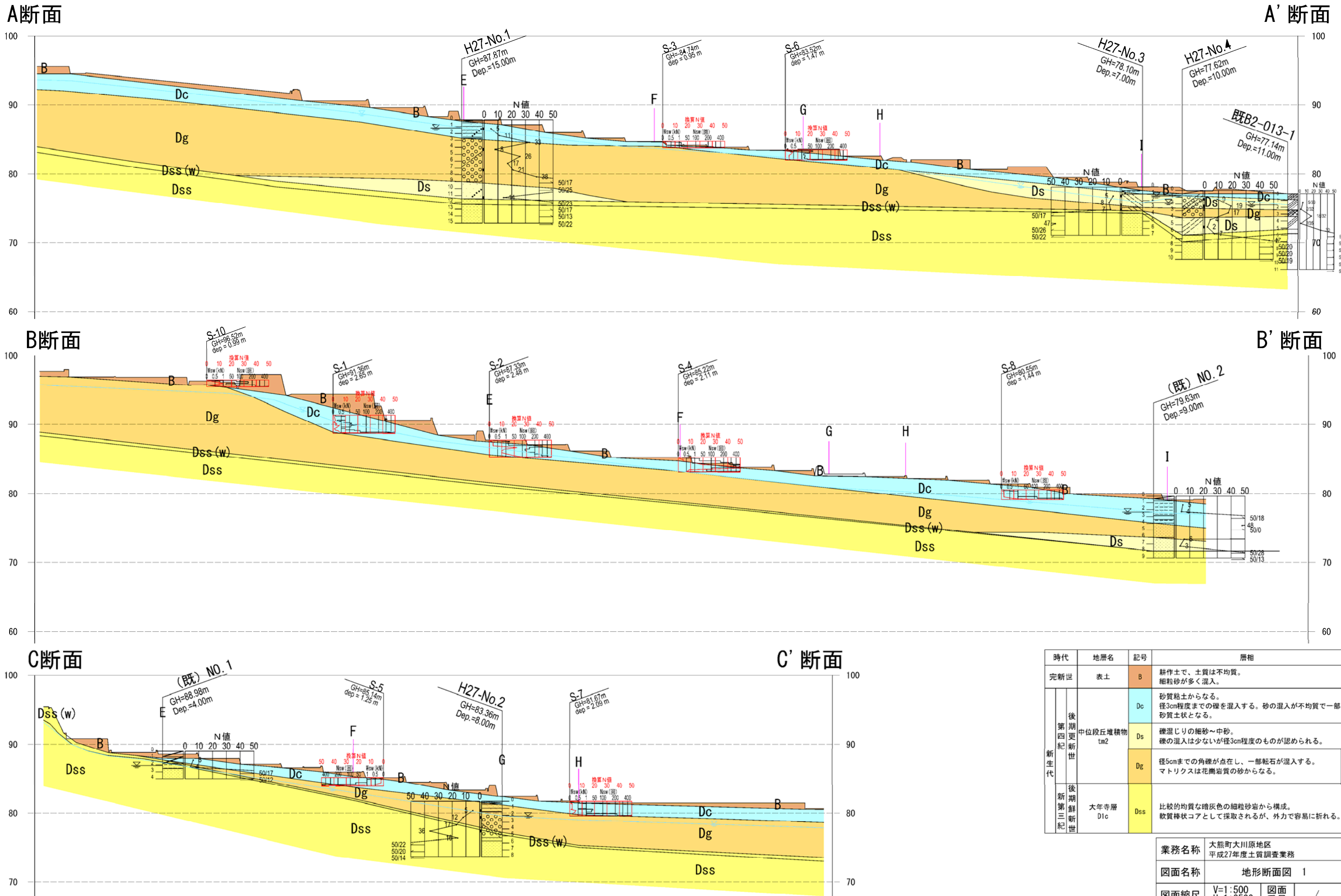


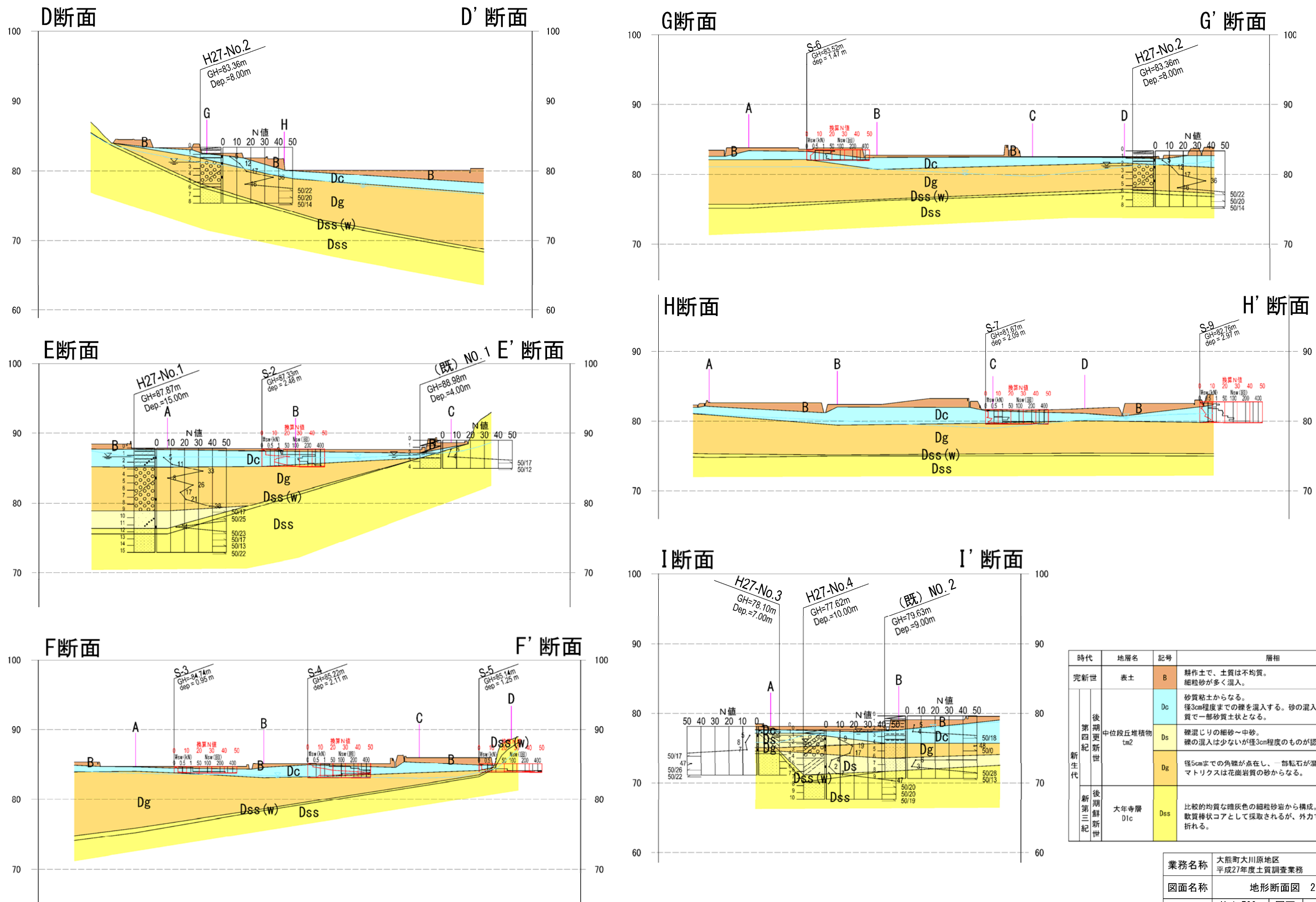
図-5.1.1 断面位置図 (縮尺任意)



時代	地層名	記号	層相	
完新世	表土	B	耕作土で、土質は不均質。細粒砂が多く混入。	
第四紀更新世	中位段丘堆積物 tm2	Dc	砂質粘土からなる。径3cm程度までの礫を混入する。砂の混入が不均質で一部砂質土状となる。	
		Ds	礫混じりの細砂～中砂。礫の混入は少ないが径3cm程度のものが認められる。	
		Dg	径5cmまでの角礫が点在し、一部転石が混入する。マトリクスは花崗岩質の砂からなる。	
新生代	後期第三紀	大年寺層 Dic	Dss	比較的均質な暗灰色の細粒砂岩から構成。軟質棒状コアとして採取されるが、外力で容易に折れる。

業務名称	大熊町大川原地区 平成27年度土質調査業務		
図面名称	地形断面図 1		
図面縮尺	V=1:500	図面番号	/
会社名	川崎地質株式会社		
作成年月日	平成 28 年 6 月		

図-5.1.2 地質断面図 (1) (SV=1:500 SH=1:2,500)



時代	地層名	記号	層相
完新世	表土	B	耕作土で、土質は不均質。 細粒砂が多く混入。
第四紀 更新世	中位段丘堆積物 tm2	Dc	砂質粘土からなる。 径3cm程度までの礫を混入する。砂の混入が不均質で一部砂質土状となる。
		Ds	礫混じりの細砂~中砂。 礫の混入は少ないが径3cm程度のものが認められる。
		Dg	径5cmまでの角礫が点在し、一部転石が混入する。 マトリクスは花崗岩質の砂からなる。
第三紀 新第三紀	大年寺層 Dlc	Dss	比較的均質な暗灰色の細粒砂岩から構成。 軟質棒状コアとして採取されるが、外力で容易に折れる。

業務名称	大熊町大川原地区 平成27年度土質調査業務		
図面名称	地形断面図 2		
図面縮尺	V=1:500	図面	/
	H=1:2500	番号	
会社名	川崎地質株式会社		
作成年月日	平成 28 年 6 月		

図-5.1.3 地質断面図 (2) (SV=1:500 SH=1:2,500)

UR大熊 No.2 コア写真



宅地地耐力データ

作成：平成28年6月14日

地区名 大熊町大川原地区

街区番号 画地番号 調査番号 S-5

地 形 休耕田

宅盤土質 砂質土

地耐力調査

調査位置 別紙のとおり 標 高 GH=85.14m

調査実施試験 スウェーデン式サウンディング試験

スウェーデン式サウンディング試験による

調査地点	評価深度 (調査深度)	スウェーデン式サウンディング試験 による長期許容支持力(kN/m ²)
S-5	GL-0.5~-2.5m (GL-0.5~-1.25m)	79.8

スウェーデン式サウンディング試験

調査件名	平成27年度大熊町大川原地区土質調査
調査位置	福島県双葉郡大熊町大川原地内
試験年月日	2016/6/14
試験者	遠嶋 悟
調査地点	S-5
最終深度	1.25 m

No.	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 Nsw (回/m)	長期許容支持力 qai (kN/m ²)
1	0.05	0	0.10	10.0	0	1.9
2	0.15	0	0.15	5.0	0	5.7
3	0.25	0	0.20	5.0	0	9.5
4	0.50	0	0.23	3.0	0	19.0
5	0.75	0	0.25	2.0	0	28.5
6	1.00	0	0.50	25.0	0	38.0
7	1.00	0	0.75	25.0	0	38.0
8	1.00	17	1.00	25.0	68	81.5
9	1.00	50	1.08	8.0	625	120.0
10	1.00	50	1.20	12.0	417	120.0
11	1.00	50	1.25	5.0	1000	120.0
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						

特記事項 【長期許容応力度qaの算出式】

UR都市整備機構より示された、宅地土工指針 より算出した。

UR都市機構 宅地土工指針【案】式 $qa=38Wsw+0.64Nsw$ (kN/m²)

ここで、Wsw：地表面下0.5m～2.5m区間の荷重Wswの加重平均値(kN)

Nsw：地表面下0.5m～2.5m区間の1m当りの半回転数Nsw（150を超える場合は150とする）の加重平均値

GL-0.50m～-2.50m

79.8 (kN/m²)

スウェーデン式サウンディング試験	記録用紙
------------------	------

調査件名	平成27年度大熊町大川原地区土質調査		
測点番号	S-5	試験者	遠嶋 悟
試験年月日	平成28年6月14日	天候	雨

No.	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 Nsw (回/m)	記事
1	0.05	0.00	0.10	10.00	0.00	無音
2	0.15	0.00	0.15	5.00	0.00	〃
3	0.25	0.00	0.20	5.00	0.00	〃
4	0.50	0.00	0.23	3.00	0.00	〃
5	0.75	0.00	0.25	2.00	0.00	〃
6	1.00	0.00	0.50	25.00	0.00	ストーン
7	1.00	0.00	0.75	25.00	0.00	〃
8	1.00	17.00	1.00	25.00	68.00	砂音(ササ)
9	1.00	50.00	1.08	8.00	625.00	〃
10	1.00	50.00	1.20	12.00	416.67	〃
11	1.00	50.00	1.25	5.00	1000.00	〃
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						

備考：

スウェーデン式サウンディング試験データ

調査名		平成27年度大熊町大川原地区土質調査				調査日	平成28年6月14日		測点	S-5							
街区番号				宅地番号			試験者	遠嶋 悟		最終貫入深度	1.25 m						
貫入 深さ (m)	推定 地質	荷重 W_{sw} (kN)				貫入量1m当りの半回転数 N_{sw}											
		0.25	0.5	0.75	1	50	100	150	200	250	300	350	400				
0.10																	
0.15																	
0.20																	
0.23																	
0.25																	
0.50																	
0.75																	
1.00																	
1.08																	
1.20																	
1.25																	

土質凡例	粘性土	砂質土	礫質土	シルト	有機質土	盛土
------	-----	-----	-----	-----	------	----

宅地地耐力データ

作成：平成28年6月14日

地区名 大熊町大川原地区

街区番号 画地番号 調査番号 S-7

地 形 休耕田

宅盤土質 砂質土 標 高 GH=81.67m

地耐力調査

調査位置 別紙のとおり

調査実施試験 スウェーデン式サウンディング試験

スウェーデン式サウンディング試験による

調査地点	評価深度 (調査深度)	スウェーデン式サウンディング試験 による長期許容支持力(kN/m ²)
S-7	GL-0.5~-2.5m (GL-0.5~-2.09m)	60.0

スウェーデン式サウンディング試験

調査件名	平成27年度大熊町大川原地区土質調査
調査位置	福島県双葉郡大熊町大川原地内
試験年月日	2016/6/14
試験者	遠嶋 悟
調査地点	S-7
最終深度	2.09 m

No.	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 Nsw (回/m)	長期許容支持力 qai (kN/m ²)
1	0.05	0	0.10	10.0	0	1.9
2	0.15	0	0.15	5.0	0	5.7
3	0.25	0	0.22	7.0	0	9.5
4	0.50	0	0.25	3.0	0	19.0
5	0.75	0	0.28	3.0	0	28.5
6	1.00	0	0.50	22.0	0	38.0
7	1.00	0	1.00	50.0	0	38.0
8	0.50	0	1.10	10.0	0	19.0
9	1.00	6	1.25	15.0	40	63.6
10	1.00	8	1.50	25.0	32	58.5
11	1.00	0	1.75	25.0	0	38.0
12	1.00	50	1.98	23.0	217	120.0
13	1.00	6	2.00	2.0	300	120.0
14	1.00	50	2.05	5.0	1000	120.0
15	1.00	50	2.09	4.0	1250	120.0
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						

特記事項 【長期許容応力度qaの算出式】

UR都市整備機構より示された、宅地土工指針 より算出した。

UR都市機構 宅地土工指針【案】式 $qa=38Wsw+0.64Nsw$ (kN/m²)

ここで、Wsw：地表面下0.5m～2.5m区間の荷重Wswの加重平均値(kN)

Nsw：地表面下0.5m～2.5m区間の1m当りの半回転数Nsw（150を超える場合は150とする）の加重平均値

GL-0.50m～-2.50m

60.0 (kN/m²)

スウェーデン式サウンディング試験	記録用紙
------------------	------







調査件名	平成27年度大熊町大川原地区土質調査		
測点番号	S-7	試験者	遠嶋 悟
試験年月日	平成28年6月14日	天候	雨

No.	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 Nsw (回/m)	記事
1	0.05	0.00	0.10	10.00	0.00	無音
2	0.15	0.00	0.15	5.00	0.00	〃
3	0.25	0.00	0.22	7.00	0.00	〃
4	0.50	0.00	0.25	3.00	0.00	〃
5	0.75	0.00	0.28	3.00	0.00	〃
6	1.00	0.00	0.50	22.00	0.00	〃
7	1.00	0.00	1.00	50.00	0.00	〃
8	0.50	0.00	1.10	10.00	0.00	砂音
9	1.00	6.00	1.25	15.00	40.00	礫音 (ジヤジヤ)
10	1.00	8.00	1.50	25.00	32.00	〃
11	1.00	0.00	1.75	25.00	0.00	〃
12	1.00	50.00	1.98	23.00	217.00	〃
13	1.00	6.00	2.00	2.00	300.00	〃
14	1.00	50.00	2.05	5.00	1000.00	〃
15	1.00	50.00	2.09	4.00	1250.00	
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						

備考:

スウェーデン式サウンディング試験データ

調査名	平成27年度大熊町大川原地区土質調査				調査日	平成28年6月14日	測点	S-7						
街区番号		宅地番号		試験者	遠嶋 悟	最終貫入深度	2.09 m							
貫入 深さ (m)	推定 地質	荷重Wsw (kN)				貫入量1m当りの半回転数 Nsw								
		0.25	0.5	0.75	1	50	100	150	200	250	300	350	400	
0.10														
0.15														
0.22														
0.25														
0.28														
0.50														
1.00														
1.10														
1.25														
1.50														
1.75														
1.98														
2.00														
2.05														
2.09														

土質凡例	粘性土 	砂質土 	礫質土 	シルト 	有機質土 	盛土 
------	---	---	---	--	--	--

宅地地耐力データ

作成：平成28年6月14日

地区名 大熊町大川原地区

街区番号 画地番号 調査番号 S-9

地 形 休耕田

宅盤土質 砂質土

地耐力調査

調査位置 別紙のとおり 標 高 GH=82.76m

調査実施試験 スウェーデン式サウンディング試験

スウェーデン式サウンディング試験による

調査地点	評価深度 (調査深度)	スウェーデン式サウンディング試験 による長期許容支持力(kN/m ²)
S-9	GL-0.5~-2.5m (GL-0.5~-2.97m)	59.8

スウェーデン式サウンディング試験

調査件名	平成27年度大熊町大川原地区土質調査
調査位置	福島県双葉郡大熊町大川原地内
試験年月日	2016/6/14
試験者	遠嶋 悟
調査地点	S-9
最終深度	2.97 m

No.	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 Nsw (回/m)	長期許容支持力 qai (kN/m ²)
1	0.05	0	0.15	15.0	0	1.9
2	0.15	0	0.18	3.0	0	5.7
3	0.25	0	0.20	2.0	0	9.5
4	0.50	0	0.24	4.0	0	19.0
5	0.75	0	0.26	2.0	0	28.5
6	1.00	0	0.33	7.0	0	38.0
7	1.00	3	0.50	17.0	18	49.3
8	1.00	0	0.75	25.0	0	38.0
9	0.50	0	0.92	17.0	0	19.0
10	0.75	0	0.98	6.0	0	28.5
11	1.00	0	1.00	2.0	0	38.0
12	1.00	3	1.25	25.0	12	45.7
13	1.00	9	1.50	25.0	36	61.0
14	1.00	10	1.75	25.0	40	63.6
15	1.00	9	2.00	25.0	36	61.0
16	1.00	17	2.25	25.0	68	81.5
17	1.00	26	2.50	25.0	104	104.6
18	1.00	19	2.75	25.0	76	86.6
19	1.00	50	2.95	20.0	250	120.0
20	1.00	50	2.97	2.0	2500	120.0
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						

特記事項 【長期許容応力度qaの算出式】

UR都市整備機構より示された、宅地土工指針 より算出した。

UR都市機構 宅地土工指針【案】式 $qa=38Wsw+0.64Nsw$ (kN/m²)

ここで、Wsw：地表面下0.5m～2.5m区間の荷重Wswの加重平均値(kN)

Nsw：地表面下0.5m～2.5m区間の1m当りの半回転数Nsw（150を超える場合は150とする）の加重平均値

GL-0.50m～-2.50m

59.8 (kN/m²)

スウェーデン式サウンディング試験	記録用紙
------------------	------







調査件名	平成27年度大熊町大川原地区土質調査		
測点番号	S-9	試験者	遠嶋 悟
試験年月日	平成28年6月14日	天候	雨

No.	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 Nsw (回/m)	記事
1	0.05	0.00	0.15	15.00	0.00	砂音(ササ)
2	0.15	0.00	0.18	3.00	0.00	〃
3	0.25	0.00	0.20	2.00	0.00	〃
4	0.50	0.00	0.24	4.00	0.00	〃
5	0.75	0.00	0.26	2.00	0.00	〃
6	1.00	0.00	0.33	7.00	0.00	〃
7	1.00	3.00	0.50	17.00	17.65	〃
8	1.00	0.00	0.75	25.00	0.00	ストーン
9	0.50	0.00	0.92	17.00	0.00	〃
10	0.75	0.00	0.98	6.00	0.00	砂音(ササ)
11	1.00	0.00	1.00	2.00	0.00	〃
12	1.00	3.00	1.25	25.00	12.00	〃
13	1.00	9.00	1.50	25.00	36.00	〃
14	1.00	10.00	1.75	25.00	40.00	〃
15	1.00	9.00	2.00	25.00	36.00	〃
16	1.00	17.00	2.25	25.00	68.00	〃
17	1.00	26.00	2.50	25.00	104.00	〃
18	1.00	19.00	2.75	25.00	76.00	〃
19	1.00	50.00	2.95	20.00	250.00	棘音(ジャジヤリ)・強反発
20	1.00	50.00	2.97	2.00	2500.00	〃
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						

備考：

スウェーデン式サウンディング試験データ

調査名		平成27年度大熊町大川原地区土質調査				調査日	平成28年6月14日	測点	S-9								
街区番号			宅地番号		試験者	遠嶋 悟	最終貫入深度	2.97 m									
貫入 深さ (m)	推定 地質	荷重 W_{sw} (kN)				貫入量1m当りの半回転数 N_{sw}											
		0.25	0.5	0.75	1	50	100	150	200	250	300	350	400				
0.15																	
0.18																	
0.20																	
0.24																	
0.26																	
0.33																	
0.50																	
0.75																	
0.92																	
0.98																	
1.00																	
1.25																	
1.50																	
1.75																	
2.00																	
2.25																	
2.50																	
2.75																	
2.95																	
2.97																	

土質凡例	粘性土 	砂質土 	礫質土 	シルト 	有機質土 	盛土 
------	---	---	---	--	--	--

土質試験結果一覧表（基礎地盤）

調査件名 大熊町大川原地区平成27年度土質調査業務

整理年月日

平成 28年 6月 2日

整理担当者

伊藤 旭洋

試料番号 (深 さ)		H27-No. 2 (1.15~1.45m)	H27-No. 2 (2.15~2.45m)	H27-No. 2 (4.15~4.45m)			
一般	湿潤密度 ρ_w g/cm ³						
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³						
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.697	2.726	2.734			
	自然含水比 w_n %	43.5	21.5	8.5			
	間隙比 e						
	飽和度 S_r %						
粒度	石分 (75mm以上) %						
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.7	34.1	54.8			
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	18.2	35.1	33.7			
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	41.6	17.0	6.3			
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	39.5	13.8	5.2			
	最大粒径 mm	9.5	37.5	37.5			
	均等係数 U_c	-	-	102			
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %	74.1					
	塑性限界 w_p %	27.7					
	塑性指数 I_p	46.4					
分類	地盤材料の 分類名	砂質粘土 (高液性限界)	細粒分質 礫質砂	細粒分まじり 砂質礫			
	分類記号	(CHS)	(SFG)	(GS-F)			
圧密	試験方法						
	圧縮指数 C_c						
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²						
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
せん断	試験条件						
	全応力	c kN/m ²					
		ϕ °					
	有効応力	c' kN/m ²					
ϕ' °							
	50% 粒径 D_{50} mm	0.014	0.64	2.7			
	20% 粒径 D_{20} mm	-	0.016	0.28			
	10% 粒径 D_{10} mm	-	-	0.048			
	細粒分 F_c %	81.1	30.8	11.5			

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

[1kN/m² ≒ 0.102kgf/cm²]

調査件名 大熊町大川原地区平成27年度土質調査業務 試験年月日 平成 28年 6月 2日

試 験 者 伊藤 旭洋

試料番号 (深さ)		H27-No. 2 (1.15~1.45m)			H27-No. 2 (2.15~2.45m)		
ピクノメーター No.		31	126	170	34	102	122
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 m_b g		165.836	172.407	169.128	161.621	168.143	159.903
m_b をはかったときの内容物の温度 T °C		22.9	22.9	22.9	22.9	22.9	22.9
T °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm ³		0.99756	0.99756	0.99756	0.99756	0.99756	0.99756
温度 T °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 m_s ¹⁾ g		148.552	155.810	153.344	144.000	151.099	142.842
試料の 炉乾燥質量	容 器 No.	31	126	170	34	102	122
	(炉乾燥試料+容器)質量g	67.712	70.960	71.272	67.849	75.935	60.790
	容 器 質 量 g	40.305	44.629	46.197	40.089	49.045	33.866
m_s g		27.407	26.331	25.075	27.760	26.890	26.924
土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³		2.701	2.698	2.692	2.731	2.724	2.723
平 均 値 ρ_s g/cm ³		2.697			2.726		
試料番号 (深さ)		H27-No. 2 (4.15~4.45m)					
ピクノメーター No.		24	36	48			
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 m_b g		159.130	157.450	156.039			
m_b をはかったときの内容物の温度 T °C		22.9	22.9	22.9			
T °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm ³		0.99756	0.99756	0.99756			
温度 T °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 m_s ¹⁾ g		140.787	139.761	139.887			
試料の 炉乾燥質量	容 器 No.	24	36	48			
	(炉乾燥試料+容器)質量g	61.033	59.625	57.529			
	容 器 質 量 g	32.179	31.792	32.068			
m_s g		28.854	27.833	25.461			
土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³		2.738	2.737	2.728			
平 均 値 ρ_s g/cm ³		2.734					
試料番号 (深さ)							
ピクノメーター No.							
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 m_b g							
m_b をはかったときの内容物の温度 T °C							
T °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm ³							
温度 T °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 m_s ¹⁾ g							
試料の 炉乾燥質量	容 器 No.						
	(炉乾燥試料+容器)質量g						
	容 器 質 量 g						
m_s g							
土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³							
平 均 値 ρ_s g/cm ³							

特記事項

1) ピクノメーターの検定結果から求める。

$$\rho_s = \frac{m_s}{m_s + (m_s - m_b)} \times \rho_w(T)$$

調査件名 大熊町大川原地区平成27年度土質調査業務

試験年月日 平成 28年 5月 31日

試験者 伊藤 旭洋

試料番号 (深さ)	H27-No. 2 (1.15~1.45m)			H27-No. 2 (2.15~2.45m)		
容器 No.	1106	1140	1254	1167	1188	1202
m_a g	214.62	209.10	197.69	222.28	231.36	238.76
m_b g	186.24	179.22	173.14	200.55	210.91	219.00
m_c g	120.95	110.27	116.87	112.33	114.28	113.36
w %	43.47	43.34	43.63	24.63	21.16	18.71
平均値 w %	43.5			21.5		
特記事項				容器No. 1188, No. 1202 : 礫による		

試料番号 (深さ)	H27-No. 2 (4.15~4.45m)					
容器 No.	1323	1363	1368			
m_a g	319.81	329.49	346.47			
m_b g	306.21	316.47	330.92			
m_c g	155.77	151.47	148.23			
w %	9.04	7.89	8.51			
平均値 w %	8.5					
特記事項						

試料番号 (深さ)						
容器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特記事項						

試料番号 (深さ)						
容器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特記事項						

試料番号 (深さ)						
容器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特記事項						

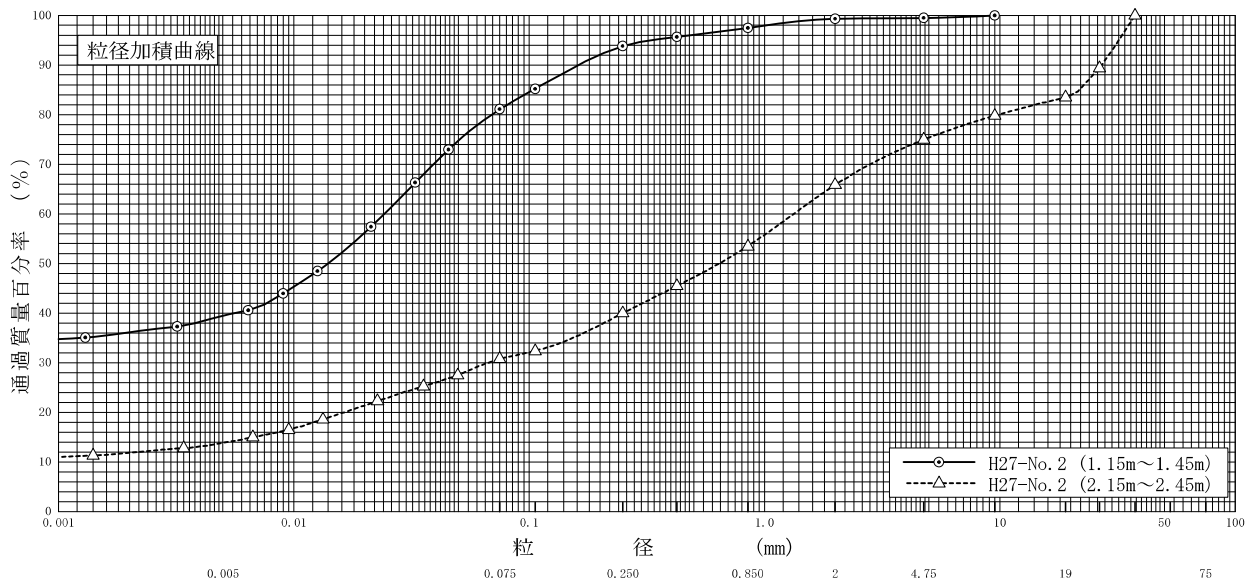
$$w = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

m_a : (試料+容器)質量
 m_b : (炉乾燥試料+容器)質量
 m_c : 容器質量

調査件名 大熊町大川原地区平成27年度土質調査業務 試験年月日 平成 28年 6月 2日

試 験 者 伊 藤 旭 洋

試料番号 (深 さ)	H27-No. 2 (1.15~1.45m)		H27-No. 2 (2.15~2.45m)		試 料 番 号 (深 さ)	H27-No. 2 (1.15~1.45m)	H27-No. 2 (2.15~2.45m)
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%		粗 礫 分 %	16.5
ふ る い	75		75		中 礫 分 %	0.5	8.5
	53		53		細 礫 分 %	0.2	9.1
	37.5		37.5	100.0	粗 砂 分 %	1.8	12.4
	26.5		26.5	89.4	中 砂 分 %	3.7	13.5
	19		19	83.5	細 砂 分 %	12.7	9.2
	9.5	100.0	9.5	79.8	シ ル ト 分 %	41.6	17.0
	4.75	99.5	4.75	75.0	粘 土 分 %	39.5	13.8
	2	99.3	2	65.9	2mmふるい通過質量百分率 %	99.3	65.9
	0.850	97.5	0.850	53.5	425μmふるい通過質量百分率 %	95.7	45.5
	0.425	95.7	0.425	45.5	75μmふるい通過質量百分率 %	81.1	30.8
分 析	0.250	93.8	0.250	40.0	最 大 粒 径 mm	9.5	37.5
	0.106	85.2	0.106	32.4	60 % 粒 径 D_{60} mm	0.024	1.3
	0.075	81.1	0.075	30.8	50 % 粒 径 D_{50} mm	0.014	0.64
	0.0454	73.0	0.0497	27.5	30 % 粒 径 D_{30} mm	-	0.067
	0.0328	66.3	0.0355	25.3	10 % 粒 径 D_{10} mm	-	-
	0.0213	57.4	0.0227	22.3	均 等 係 数 U_c	-	-
	0.0126	48.5	0.0133	18.6	曲 率 係 数 U_c'	-	-
	0.0090	44.0	0.0095	16.5	土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³	2.697	2.726
	0.0064	40.6	0.0067	15.0	使用した分散剤	ヘキサメタリン酸ナトリウム	ヘキサメタリン酸ナトリウム
	0.0032	37.3	0.0034	12.8	溶液濃度, 溶液添加量	飽和溶液, 10ml	飽和溶液, 10ml
分 析	0.0013	35.1	0.0014	11.3	20 % 粒 径 D_{20} mm	-	0.016



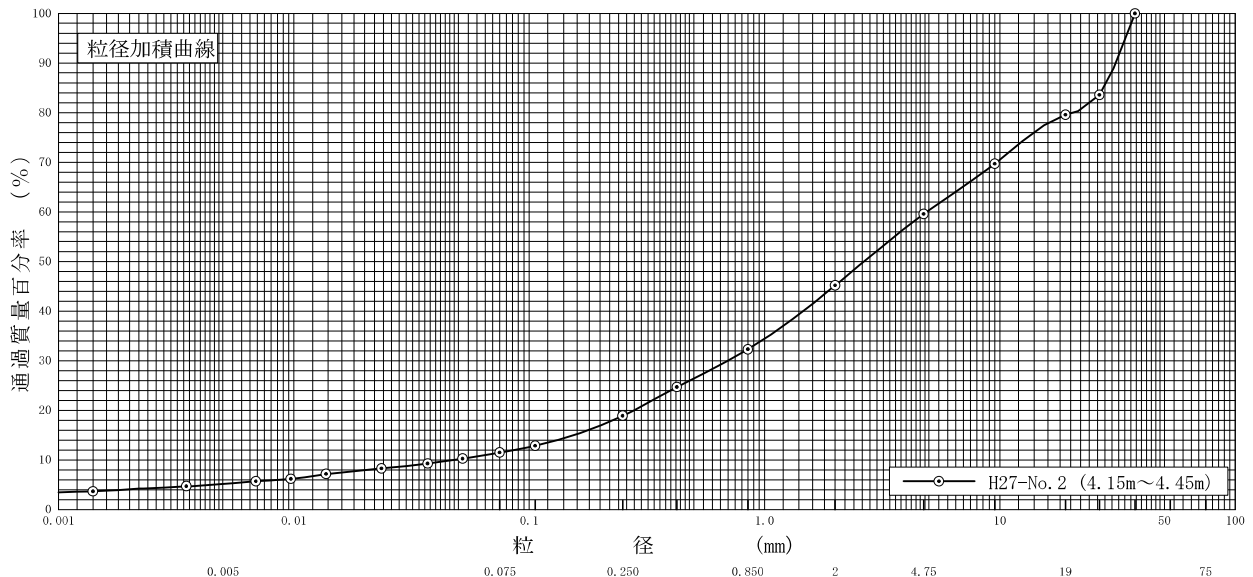
粘 土	シ ル ト	細 砂	中 砂	粗 砂	細 礫	中 礫	粗 礫
-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

特記事項

調査件名 大熊町大川原地区平成27年度土質調査業務 試験年月日 平成 28年 6月 2日

試 験 者 伊 藤 旭 洋

試料番号 (深 さ)	H27-No. 2 (4.15~4.45m)				試 料 番 号 (深 さ)	H27-No. 2 (4.15~4.45m)	
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%		粗 礫 分 %	20.4
ふる る い 分 析	75		75		中 礫 分 %	20.0	
	53		53		細 礫 分 %	14.4	
	37.5	100.0	37.5		粗 砂 分 %	12.9	
	26.5	83.6	26.5		中 砂 分 %	13.4	
	19	79.6	19		細 砂 分 %	7.4	
	9.5	69.7	9.5		シ ル ト 分 %	6.3	
	4.75	59.6	4.75		粘 土 分 %	5.2	
	2	45.2	2		2mmふるい通過質量百分率 %	45.2	
	0.850	32.3	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %	24.7	
	0.425	24.7	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %	11.5	
	0.250	18.9	0.250		最 大 粒 径 mm	37.5	
	0.106	12.9	0.106		60 % 粒 径 D_{60} mm	4.9	
	0.075	11.5	0.075		50 % 粒 径 D_{50} mm	2.7	
沈 降 分 析	0.0522	10.3			30 % 粒 径 D_{30} mm	0.70	
	0.0371	9.3			10 % 粒 径 D_{10} mm	0.048	
	0.0236	8.3			均 等 係 数 U_c	102	
	0.0137	7.2			曲 率 係 数 U_c'	2.08	
	0.0097	6.2			土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³	2.734	
	0.0069	5.7			使用した分散剤	ヘキサメチレン酸ナトリウム	
	0.0035	4.7			溶液濃度, 溶液添加量	飽和溶液, 10ml	
	0.0014	3.7			20 % 粒 径 D_{20} mm	0.28	



粘 土	シ ル ト	細 砂	中 砂	粗 砂	細 礫	中 礫	粗 礫
-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

特記事項

調査件名 大熊町大川原地区平成27年度土質調査業務

試験年月日 平成 28年 6月 2日

試験者 伊藤 旭洋

試料番号 (深さ) H27-No. 2 (1.15~1.45m)

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	74.1
45	68.2	27.2	塑性限界 w_p %
30	72.3	27.6	27.7
20	76.4	28.2	塑性指数 I_p
16	78.6		46.4
13	80.5	0.425mmフルイ通過試料	

試料番号 (深さ)

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	
			塑性限界 w_p %
			塑性指数 I_p

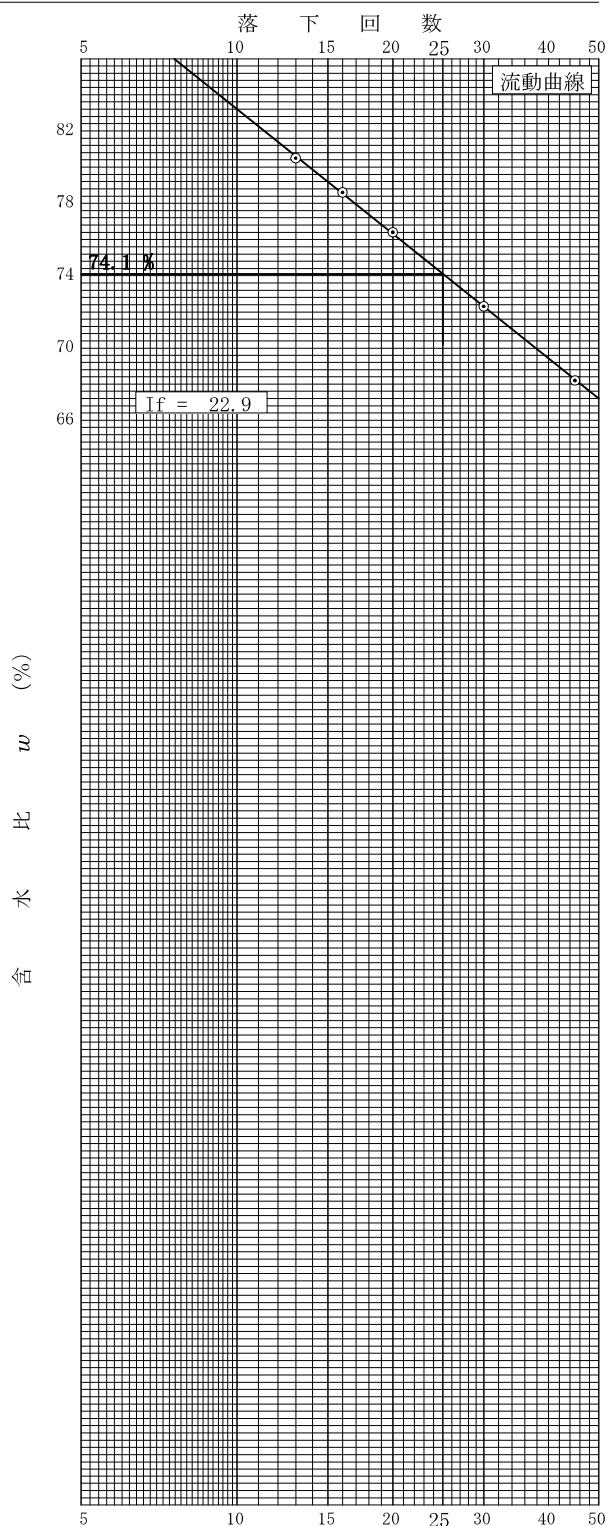
試料番号 (深さ)

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	
			塑性限界 w_p %
			塑性指数 I_p

試料番号 (深さ)

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	
			塑性限界 w_p %
			塑性指数 I_p

特記事項



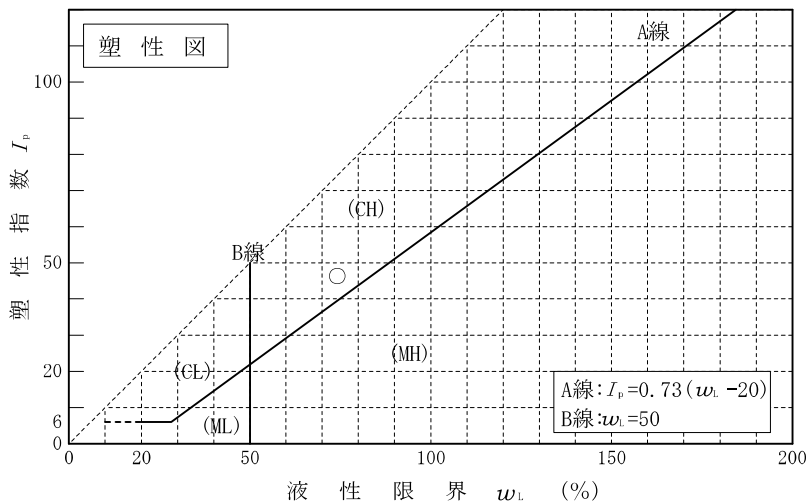
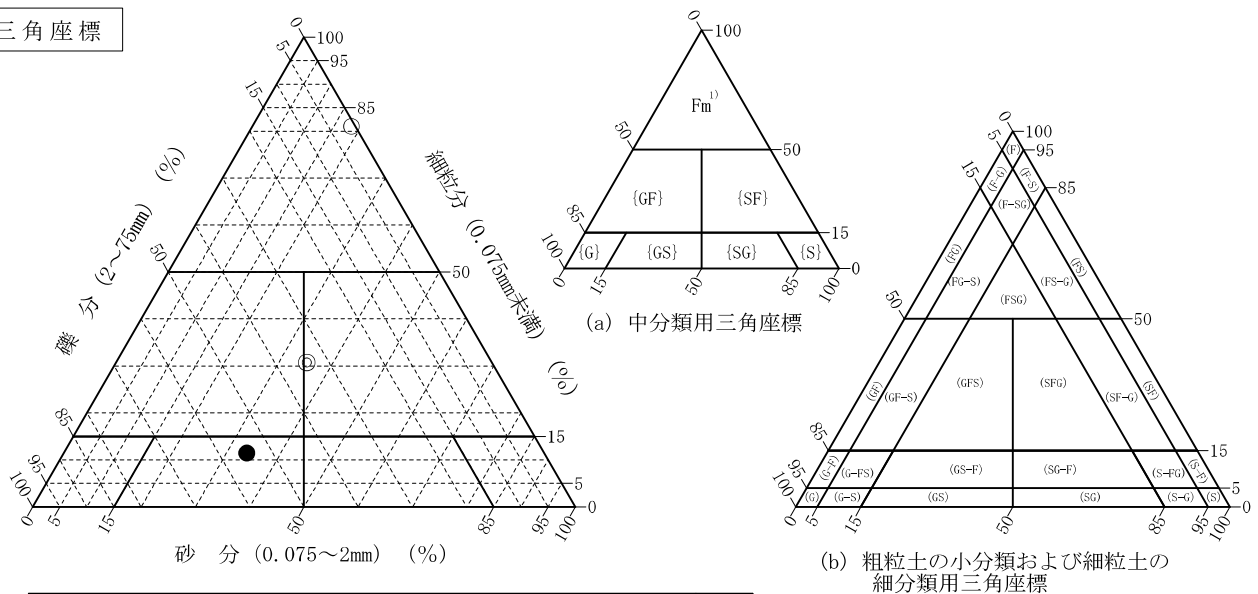
調査件名 大熊町大川原地区平成27年度土質調査業務

試験年月日 平成 28年 6月 2日

試験者 伊藤 旭洋

試料番号 (深 さ)	H27-No. 2 (1.15~1.45m)	H27-No. 2 (2.15~2.45m)	H27-No. 2 (4.15~4.45m)			
石 分(75mm以上) %						
礫 分(2~75mm) %	0.7	34.1	54.8			
砂 分(0.075~2mm) %	18.2	35.1	33.7			
細 粒 分(0.075mm未満) %	81.1	30.8	11.5			
シルト分(0.005~0.075mm)%	41.6	17.0	6.3			
粘 土 分(0.005mm未満) %	39.5	13.8	5.2			
最 大 粒 径 mm	9.5	37.5	37.5			
均 等 係 数 U_c	-	-	102			
液 性 限 界 w_L %	74.1					
塑 性 限 界 w_p %	27.7					
塑 性 指 数 I_p	46.4					
地盤材料の分類名	砂質粘土 (高液性限界)	細粒分質 礫質砂	細粒分まじり 砂質礫			
分 類 記 号	(CHS)	(SFG)	(GS-F)			
凡 例 記 号	○	◎	●			

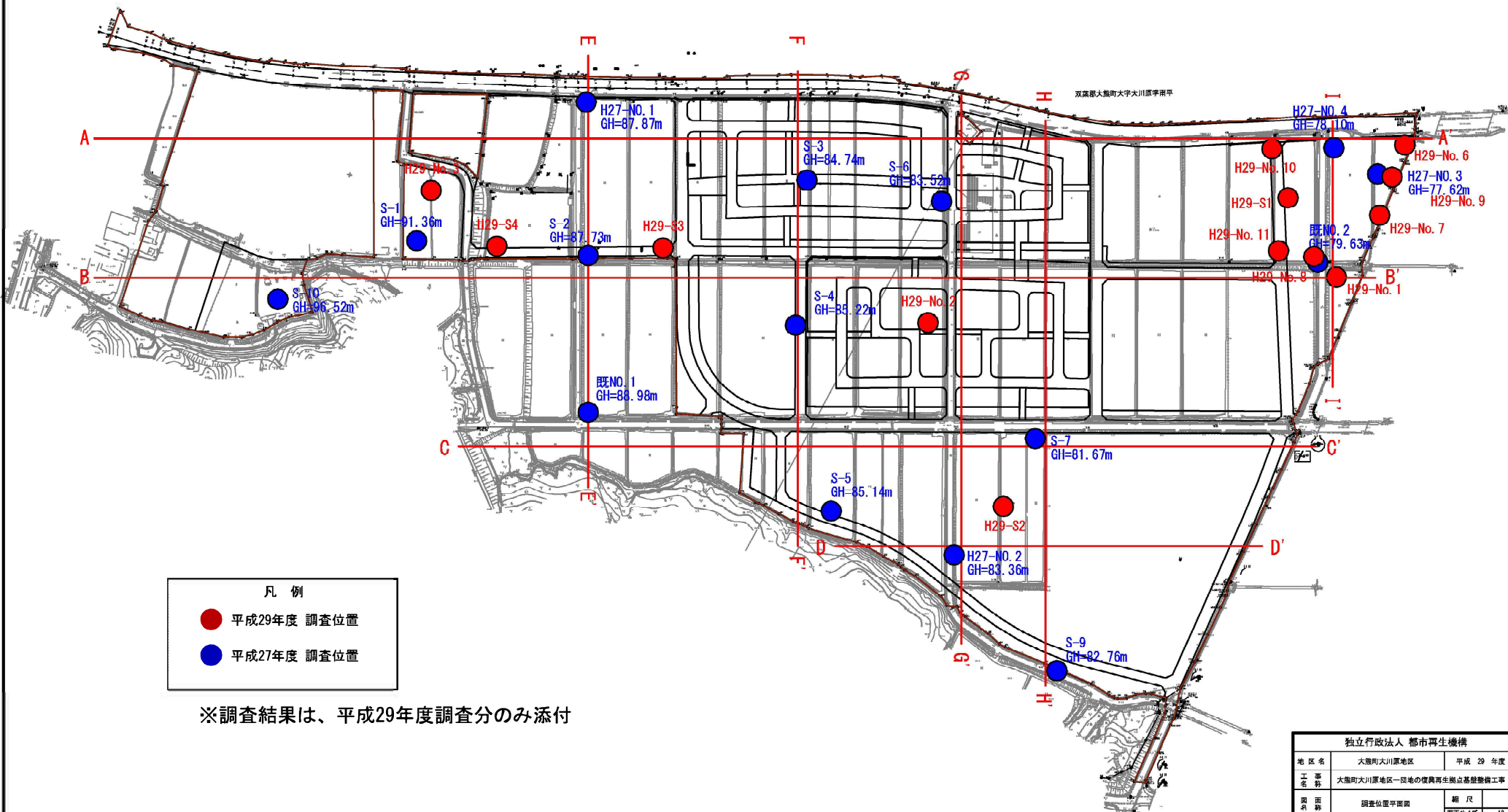
三角座標



特記事項 1) 主に観察と塑性図で判別分類

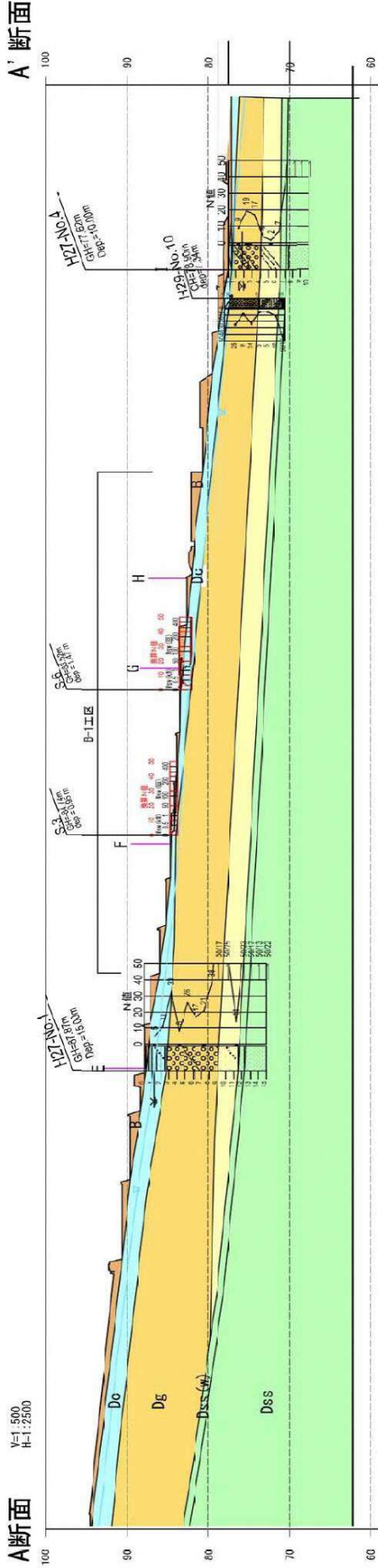
平成29年度調査

調査位置平面図 A3 S=1:2,500

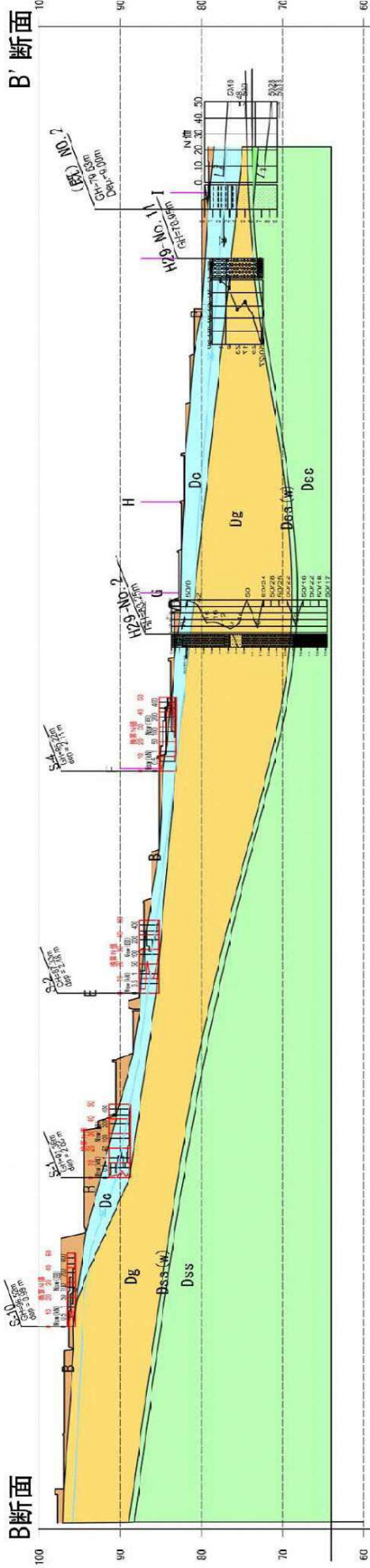


独立行政法人 都市再生機構			
地区名	大熊町大川原地区	平成	29 年度
工事名称	大熊町大川原地区一団地の復興再生拠点基盤整備工事		
図面名称	調査位置平面図	縮尺	調査サイズ A3
製図者	橋本 隆夫	製図番号	3-12,500
製図日	平成 30 年 月 日	製図時間	分
製図場所		製図機	

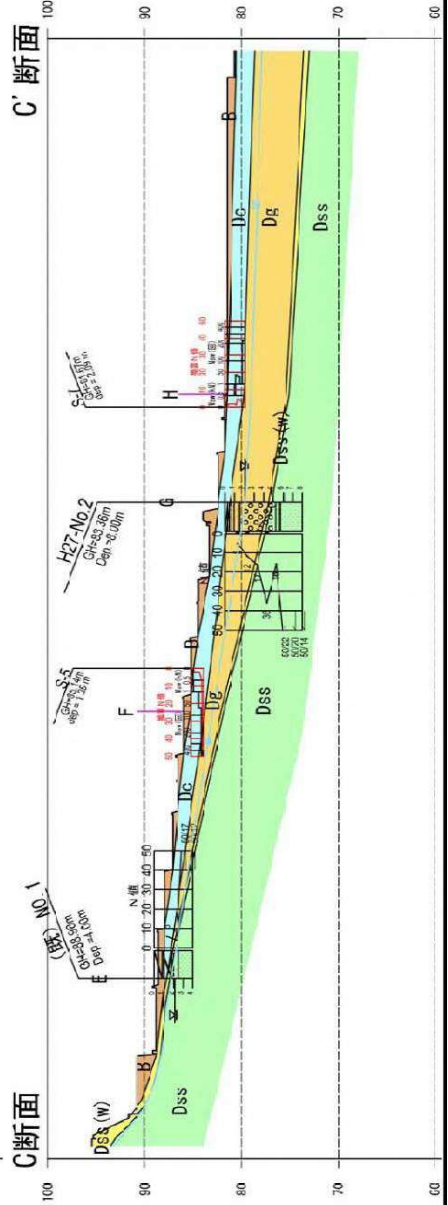
A断面
V=1:500
H=1:2500



B断面

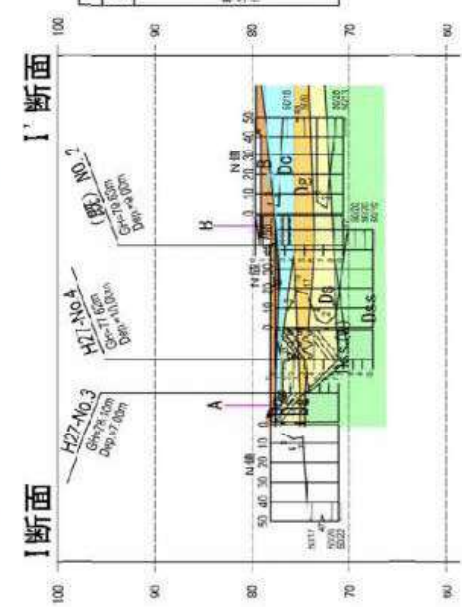
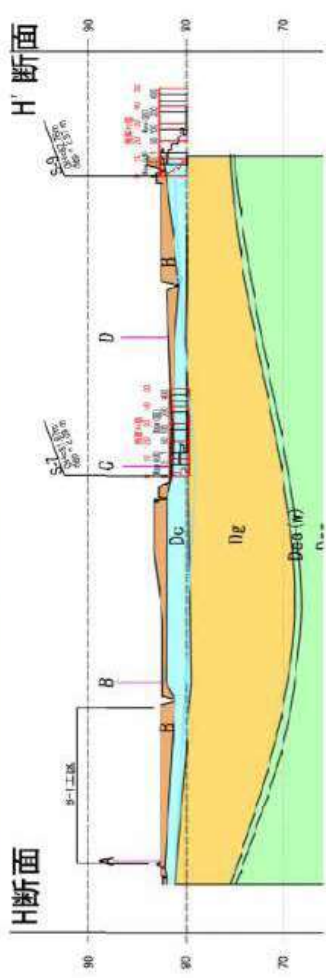
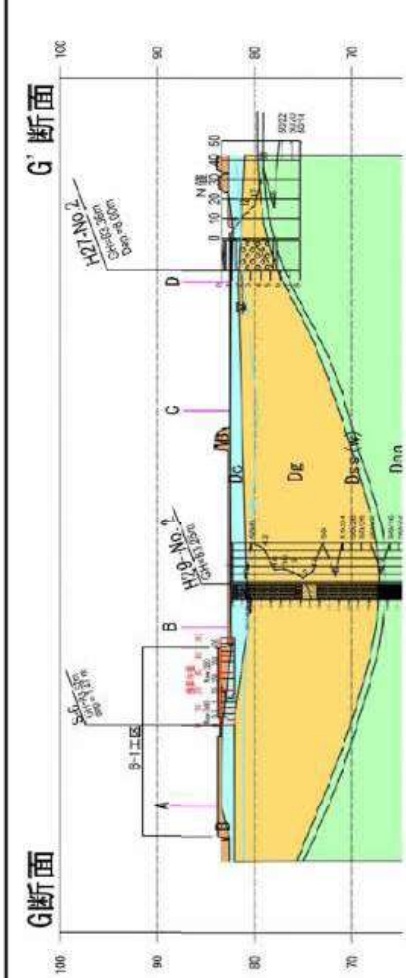
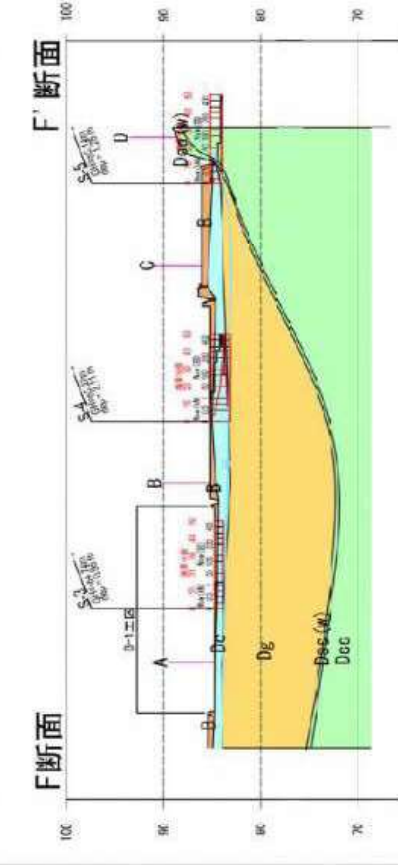
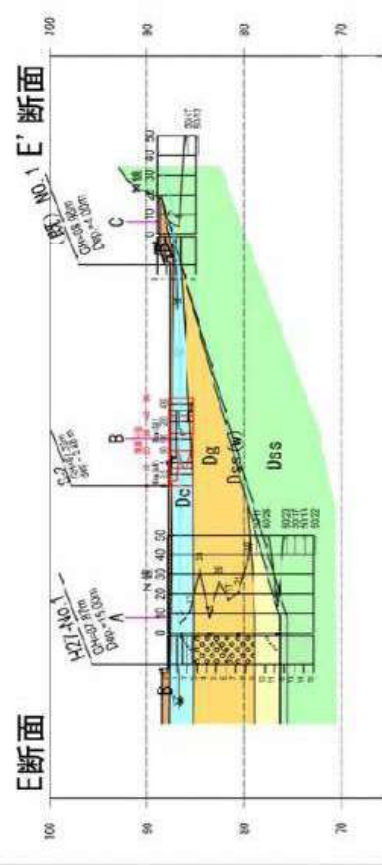
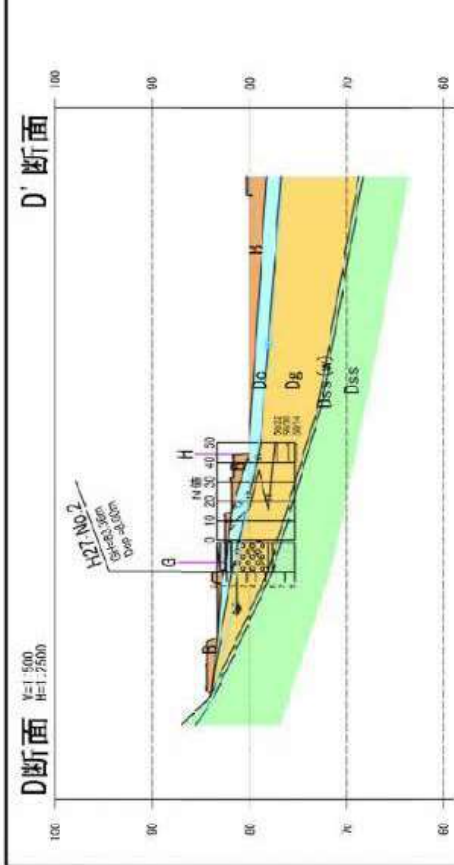


C断面



時代	地層名	記号	原相
更新世	黄土	B	砂利土で、土質は不均質。粗砂が多く混入。
後期第四紀	沖積層	Dc	砂利土からなる。50cm程度までの層を混入する。砂の混入が不均質で一部砂質土となる。
		Dg	礫質土の層が一部混入している。礫の混入は少ないが50cm程度のものが認められる。
中生代	新第三紀	Ds	砂質土からなる。一部混入が認められる。マトラノ人は右側部より認められる。
		Dss	比較的均質な緑灰色の細粒砂岩から構成。粘質砂岩コアとして混入されるが、片方で認められる。

業務名称	大熊町大川原地区 平成27年度土質調査業務
図面名称	地質断面図 1
図面縮尺	縦=1:500 横=1:2500
会社名	/
作成年月日	平成 28 年 6 月



時代	地層名	記号	層厚
更新世	表土	h	層厚不定、土質は不均質、粗粒が多量に混入。
第四紀	沖積層	h1	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h2	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h3	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h4	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h5	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h6	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h7	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h8	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h9	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h10	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h11	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h12	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h13	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h14	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h15	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h16	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h17	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h18	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h19	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h20	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h21	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h22	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h23	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h24	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h25	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h26	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h27	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h28	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h29	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。
第四紀	沖積層	h30	河川堆積物による。粗粒が多量に混入する。砂の混入が平均的であり、砂質土質となる。

業務名称	大熊町大川原地区 平成27年度土質調査業務
図面名称	地形断面図 2
図面縮尺	Y=1:500 H=1:2500
図面番号	/
会社名	
作成年月日	平成28年6月



調査件名 平成29年度大熊町大川原地区一団地の復興再生拠点基盤整備工事
 双葉郡大熊町大川原 地内

試験年月日 2017年 08月 21日

地点番号(地盤高) H29-S2

試験者 増子 裕一

載荷装置の種類		おもりによる載荷		回転装置の種類			半自動		天候		曇り							
荷重 W_{sw} kN	半回転数 N_a	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1m当たりの 半回転数 N_{sw}	記事 N値 qa qu (kN/m ²) (kN/m ²)			深さ m	荷重 W_{sw} kN		貫入量1m当たりの半回転数 N_{sw}							
								0	0.25	0.5	0.75	0	50	100	200	300	400	600
0.50		0.25	25		1.5	7.5	22.5											
1.00		0.50	25		3.0	30.0	45.0											
1.00		0.75	25		3.0	30.0	45.0											
1.00		1.00	25		3.0	30.0	45.0											
0.75		1.25	25		2.3	16.9	33.8	細粒土 1.075										
1.00		1.50	25		3.0	30.0	45.0											
1.00	4	1.75	25	16	3.8	39.6	57.0											
1.00	5	2.00	25	20	4.0	42.0	60.0											
1.00	232	2.25	25	928	64.2	586.8	741.0	砂質土 1.150										
1.00	216	2.30	5	4320	291.4	2622.0	3285.0											
								3.225										
								4.300										
								5.375										
								6.450										
								7.525										
								8.600										
								9.675										
								10.750										

特記事項

一軸圧縮強さ $q_u = 45.0W_{sw} + 0.75N_{sw}$ [1kN ≒ 102kgf]

W_{sw} が1kN以下の荷重で貫入した場合の許容支持力 $q_a = 30W_{sw}^2$ 礫、砂、砂質土 $N = 2.0W_{sw} + 0.067N_{sw}$
 回転で貫入した場合の許容支持力 $q_a = 30 + 0.6N_{sw}$ 粘土、粘性土 $N = 3.0W_{sw} + 0.050N_{sw}$

調査件名 平成29年度大熊町大川原地区一団地の復興再生拠点基盤整備工事
 双葉郡大熊町大川原 地内

試験年月日 2017年 08月 21日

地点番号(地盤高) H29-S3

試験者 増子 裕一

載荷装置の種類		おもりによる載荷		回転装置の種類		半自動		天候		曇り				
荷重 W_{sw} kN	半回転数 N_a	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1m当たりの 半回転数 N_{sw}	記事 N値 qa (kN/m ²) qu (kN/m ²)	深さ m	荷重 W_{sw} kN	貫入量1m当たりの半回転数 N_{sw}						
							0 0.25 0.5 0.75 0	0	50	100	200	300	400	600
1.00	1	0.25	25	4	無音 3.2 32.4 48.0									
1.00	4	0.50	25	16	" 3.8 39.6 57.0									
1.00	8	0.75	25	32	" 4.6 49.2 69.0									
1.00	100	1.00	25	400	砂音 23.0 270.0 345.0									
1.00	250	1.14	14	1786	" 空転 121.7 1101.6 1384.5									
						2.150								
						3.225								
						4.300								
						5.375								
						6.450								
						7.525								
						8.600								
						9.675								
						10.750								

特記事項

一軸圧縮強さ $q_u = 45.0W_{sw} + 0.75N_{sw}$ [1kN ≒ 102kgf]

W_{sw} が1kN以下の荷重で貫入した場合の許容支持力 $q_a = 30W_{sw}^2$ 礫、砂、砂質土 $N = 2.0W_{sw} + 0.067N_{sw}$
 回転で貫入した場合の許容支持力 $q_a = 30 + 0.6N_{sw}$ 粘土、粘性土 $N = 3.0W_{sw} + 0.050N_{sw}$

調査件名 平成29年度大熊町大川原地区一団地の復興再生拠点基盤整備工事
 双葉郡大熊町大川原 地内

試験年月日 2017年 08月 21日

地点番号(地盤高) H29-S4

試験者 増子 裕一

載荷装置の種類		おもりによる載荷		回転装置の種類		半自動		天候		曇り			
荷重 W_{sw} kN	半回転数 N_a	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1m当たりの 半回転数 N_{sw}	記事 N値 qa qu (kN/m ²) (kN/m ²)	深さ m	荷重 W_{sw} kN	貫入量1m当たりの半回転数 N_{sw}					
							0 0.25 0.5 0.75 0	50	100	200	300	400	600
1.00	9	0.25	25	36	無音 4.8 51.6 72.0	0.25							
1.00	155	0.50	25	620	礫音 43.5 402.0 510.0	0.50							
1.00	41	0.75	25	164	砂音 13.0 128.4 168.0	0.75							
1.00	19	1.00	25	76	" ~ 無音 6.8 75.6 102.0	1.00							
1.00	5	1.25	25	20	無音 4.0 42.0 60.0	1.25							
1.00	1	1.50	25	4	" 3.2 32.4 48.0	1.50							
1.00		1.75	25		白砂速い 3.0 30.0 45.0	1.75							
1.00	9	2.25	25	36	無音、礫音あり 4.8 51.6 72.0	2.25							
1.00	70	2.50	25	280	砂音 20.8 198.0 255.0	2.50							
1.00	250	2.53	3	8333	" 空転 560.3 5029.8 6294.8	2.53							
						3.225							
						4.300							
						5.375							
						6.450							
						7.525							
						8.600							
						9.675							
						10.750							

特記事項

一軸圧縮強さ $q_u = 45.0W_{sw} + 0.75N_{sw}$ [1kN ≒ 102kgf]

W_{sw} が1kN以下の荷重で貫入した場合の許容支持力 $q_a = 30W_{sw}^2$ 礫、砂、砂質土 $N = 2.0W_{sw} + 0.067N_{sw}$
 回転で貫入した場合の許容支持力 $q_a = 30 + 0.6N_{sw}$ 粘土、粘性土 $N = 3.0W_{sw} + 0.050N_{sw}$

平成30年度調査

ボーリング柱状図

調査名 第43号

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 大熊町医療・福祉施設、交流ゾーン地質調査業務委託

シートNo.

ボーリング名	BV-1		調査位置	双葉郡大熊町大字大川原字南平地内外						北緯	37° 22' 58.55"					
発注機関	大熊町役場				調査期間	平成 30年 12月 18日 ~ 30年 12月 21日			東経	140° 57' 40.75"						
調査業者名	庄建技術株式会社 電話(0244-22-6868)		主任技師	紺野雅弘		現場代理人	紺野雅弘		コ鑑定者	紺野雅弘		ボーリング責任者	佐々木達雄			
孔口標高	87.39m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	試錐機 鉦研OP-1型		ハンマー落下用具	半自動型落下装置	
総掘進長	17.32m	度	0°		向	180°		エンジン	ヤンマーNFAD8型		ポンプ	鉦研MG-5h型				

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	室内試験()	掘進月日	
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	0	10	20						打撃回数/貫入量 (cm)
1	86.09	1.30	1.30	礫混り砂質シルト	暗褐～黒褐	軟		粘性土。シルト主体で、砂分は細砂。0.15mまで、φ10~20mmの角礫を混入する。山砂状の礫土。以深、若干の腐植物を混入する。	12/19	1.16	1	1	3	30	3				
2				礫混り粘土質砂	褐灰	緩い	中位	砂質土。細砂主体で、φ10~20mmの角礫を混入する。細粒分は粘土を混入し、深度4m付近含水比高い。水位(12/18): 2.39m(掘進2.45m、ケーシング1.00m)	12/20	1.46	2	3	7	30	7				
3										2.45	2	5	11	30	11				
4	83.39	2.70	4.00							3.15	2	5	11	30	11				
5										3.45	8	17	39	30	39				
6										4.15	7	8	27	30	27				
7										4.45	7	12	32	30	32				
8										5.15	7	12	32	30	32				
9										5.45	7	12	32	30	32				
10										6.15	7	12	32	30	32				
11	76.49	6.90	10.90	粘土混り砂礫	褐灰	中位	密な	礫質土。φ20~30mmのマサ状風化花崗岩主体で、砂分は粗砂主体。細粒分は粘土分を20~30%程度混入。全体に密な土層を呈する。水位(12/19): 1.12m(掘進4.45m、ケーシング1.00m) 水位(12/20): 2.36m(掘進10.45m、ケーシング1.00m)		6.45	15	21	50	27	56				
12	75.69	0.80	11.70	風化砂質泥岩	褐灰～緑灰	硬い		風化泥岩。粘性土状コア。コアは、砂質粘土状コアを呈し、軟質化進行する風化岩。		7.15	18	32	60	19	79				
13										7.42	11	12	35	30	35				
14										8.15	11	12	35	30	35				
15										8.45	7	11	32	30	32				
16										9.15	7	11	32	30	32				
17										9.45	11	12	34	30	34				
18										10.15	11	12	34	30	34				
19										10.45	3	4	13	30	13				
20										11.15	3	4	13	30	13				
21										11.45	18	32	60	19	79				
22										12.15	16	31	50	21	71				
23										12.34	16	31	50	21	71				
24										13.10	19	31	50	18	83				
25										13.31	17	29	4	50	71				
26										14.10	17	29	4	50	71				
27										14.28	18	32	50	20	75				
28										15.10	16	29	5	50	22				
29										15.31	16	29	5	50	22				
30										16.10	16	29	5	50	22				
31										16.30	16	29	5	50	22				
32										17.10	16	29	5	50	22				
33										17.32	16	29	5	50	22				

ボーリング柱状図

調査名 第43号

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 大熊町医療・福祉施設、交流ゾーン地質調査業務委託

シートNo.

ボーリング名	BV-3	調査位置	双葉郡大熊町大字大川原字南平地内外			北緯	37° 22' 56.07"					
発注機関	大熊町役場			調査期間	平成 31年 1月 29日 ~ 31年 2月 1日							
調査業者名	庄建技術株式会社 電話(0244-22-6868)	主任技師	紺野雅弘		現場代理人	紺野雅弘	コ鑑定者	紺野雅弘	ボーリング責任者	佐々木達雄		
孔口標高	87.87m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	鉦研OP-1型	ハンマー 落下用具	半自動型落下装置
総掘進長	14.30m	度	0°	向	0°			エンジン	ヤンマーNFAD8型	ポンプ	鉦研MG-5h型	

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記述	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験	掘進月日		
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	0	10	20						打撃回数/貫入量 (cm)	
1	86.47	1.40	1.40		盛土(礫混りシルト質砂)	暗褐灰	緩い		砂質土。細砂~粗砂主体で、φ20~30mm(max.40mm)の遊角礫を混入する。一部、木片を混入する。	1.15	2	1	2	5	30						
2	85.32	1.15	2.55		砂質シルト	暗褐灰	極軟		粘性土。シルト主体で、砂分は細砂を混入。全体に若干の腐植物を混入する。	1.45	1			1	30						
3	84.02	1.30	3.85		礫混り粘土質砂	暗青灰	極緩い		砂質土。細砂~粗砂主体で、所々に、20~30mmの遊角礫を混入する。細粒分は粘土を混入し、粘着力を有する。全体に含水比は湿った程度。水位(1/30):2.57m(掘進3.00m、ケーシング1.00m)	2.15	1			1	30						
4					粘土質砂礫	褐	中位~密な		砂質土。φ5~20mm(max.30mm)の花崗岩風化礫主体、砂分は細砂~粗砂を混入。細粒分は粘土を混入し、粘着力を有する。全体に含水比は湿った程度。所々に、粘性土状の土層を挟む。水位(1/31):1.97m(掘進7.45m、ケーシング1.00m)	2.45	1	1	1	3	30						
5					風化砂質泥岩	明褐灰	硬い		風化泥岩。粘性土状コア。コアは、砂質粘土状コアを呈し、変色を伴い、やや軟化進行する風化岩。	3.15	1	1	1	3	30						
6					砂質泥岩	暗緑灰	固結		泥岩。固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは15~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に碎ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコアで、下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂質状の部分も確認される。水位(2/1):2.14m(掘進11.33m、ケーシング9.00m)	3.45	6	9	9	24	30						
7										4.15	6	9	9	24	30						
8	79.32	4.70	8.55							4.45	17	17	11	45	30						
9	78.62	0.70	9.25							4.65	7	8	10	25	30						
10										6.15	7	8	10	25	30						
11										6.45	10	15	16	41	30						
12										7.15	10	15	16	41	30						
13										7.45	12	6	6	24	30						
14	73.57	5.05	14.30							8.15	12	6	6	24	30						
										8.45	9	19	22	50	28						
										9.43	17	26	7	50	3						
										10.10	17	26	7	50	3						
										10.33	17	24	9	50	3						
										11.10	17	24	9	50	3						
										11.33	19	28	3	50	1						
										12.10	18	27	5	50	1						
										12.31	18	27	5	50	1						
										13.10	19	31		50	20						
										13.31	19	31		50	20						
										14.10	19	31		50	20						
										14.30	19	31		50	20						

ボーリング柱状図

調査名 第43号

ボーリングNo.

事業・工事名 大熊町医療・福祉施設、交流ゾーン地質調査業務委託

シートNo.

ボーリング名	BV-4	調査位置	双葉郡大熊町大字大川原字南平地内外			北緯	37° 22' 56.62"		
発注機関	大熊町役場			調査期間	平成31年1月16日～31年1月19日		東経	140° 57' 38.76"	
調査業者名	庄建技術株式会社 電話(0244-22-6868)	主任技師	紺野雅弘		現場代理人	紺野雅弘	コ鑑定者	紺野雅弘	
ボーリング責任者						ボ-リング責任者		佐々木達雄	
孔口標高	88.77m	角			方	北 0°		地盤勾配	水平0°
総掘進長	15.31m	度			向	西 270° 東 90° 南 180°		使用機種	試錐機 鉦研OP-1型
								ハンマー落下用具	半自動型落下装置
								エンジン	ヤンマーNFAD8型
								ポンプ	鉦研MG-5h型

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日		
									深	10cmごとの	打撃回数	N値							
									度	打撃回数	打撃回数	N値		深	度	採取番号	採取方法	掘進月日	
									(m)	0	10	20	0 10 20 30 40 50 60		(m)				
88.57	0.20	0.20		盛土(シルト質砂)	褐灰	緩い		砂質土。山砂(シルト質砂)の盛土。	1.16	1	1	2	N						
87.77	0.80	1.00		砂質シルト	暗褐	軟		粘性土。シルト主体で、砂分は細砂を混入。全体に、楕粒や腐植物を若干混入。水分は、φ5mm程度の歪角線を若干混入。	1.46	1	14	2	2						
				凝り粘土	暗褐灰～褐灰	軟～中位		粘性土。粘土主体で、砂分は細砂を混入。水分は、φ5mm程度の風化礫を混入。3.00m付近、砂質土を呈する。粘着力を有し、含水比は湿った程度。水位(1/16):なし(掘進2.45m、ケーシング1.00m)	2.15	3	1	4	8						
84.82	2.95	3.95		凝り粘土	暗褐灰～褐灰	軟～中位		粘性土。粘土主体で、砂分は細砂を混入。水分は、φ5mm程度の風化礫を混入。3.00m付近、砂質土を呈する。粘着力を有し、含水比は湿った程度。水位(1/16):なし(掘進2.45m、ケーシング1.00m)	2.45	2	2	2	6						
				粘土質砂礫	暗褐灰	中位		礫質土。φ5~20mm(max60mm)の風化礫主体で、砂分は粗砂主体、細粒分は、粘土分を30~40%程度混入。所々、粘土分の混入率高く40%程度混入。全体に粘着力を有する。含水比は湿った程度。水位(1/17):3.76m(掘進4.00m、ケーシング1.00m)	3.15	2	2	2	30						
				風化砂質泥岩	褐灰	極硬い		風化泥岩。粘性土状コア。コアは、砂質粘土状コアを呈し、軟質化進行する風化岩。	3.45	3	4	4	11						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	4.15	3	4	4	11						
80.12	4.70	8.65		砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	4.45	7	8	7	22						
79.42	0.70	9.35		砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	5.15	7	8	7	22						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	5.45	11	9	8	28						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	6.15	4	3	9	16						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	7.15	7	11	10	28						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	7.45	7	11	10	28						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	8.15	7	11	10	28						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	8.45	9	12	18	39						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	9.15	17	24	9	50						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	9.45	17	24	9	50						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	10.10	21	29	3	23						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	10.33	21	29	3	23						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	11.10	21	29	3	23						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	11.30	17	26	7	50						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	12.10	17	26	7	50						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	12.32	18	27	5	50						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	13.10	18	27	5	50						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	13.31	17	26	7	50						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	14.10	17	26	7	50						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	14.32	17	26	7	50						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	15.10	17	28	5	50						
				砂質泥岩	暗緑灰	固結		固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコア。下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状を呈する。	15.31	17	28	5	50						

ボーリング柱状図

調査名 第43号

ボーリングNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 大熊町医療・福祉施設、交流ゾーン地質調査業務委託

シートNo.

ボーリング名	BV-5	調査位置	双葉郡大熊町大字大川原字南平地内外					北緯	37° 22' 55.07"							
発注機関	大熊町役場			調査期間	平成 31年 2月 9日 ~ 31年 2月 13日			東経	140° 57' 37.45"							
調査業者名	庄建技術株式会社 電話(0244-22-6868)		主任技師	紺野雅弘		現場代理人	紺野雅弘		コ鑑定者	紺野雅弘		ボーリング責任者	佐々木達雄			
孔口標高	90.72m	角	180° 上 90° 下		方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	試錐機 鉦研OP-1型 エンジン ヤンマーNFAD8型		ハンマー落下用具	半自動型落下装置 鉦研MG-5h型	
総掘進長	14.33m	度	0°		向	0°										

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日	
										深	10cmごとの 打撃回数 / 貫入量 (cm)			N 値					深
										0	10	20	30						
1				盛土(礫混りシルト質砂)	暗黄褐色	緩い		砂質土、山砂(シルト質砂)、泥岩砕の盛土。不均一で、礫分は泥岩砕でφ10~60mm程度。	2/13 2.43	1.15	2	2	4	8					
2	88.22	2.50								1.46	2	2	2	6					
3				礫混り粘土質砂	暗褐色	緩い	中位	砂質土、細砂~粗砂主体で、礫分は、φ5~20mm(max50mm)の風化礫を混入する。細粒分は粘土を混入し、粘着力を有する。全体に含水比は湿った程度。	2/12 5.07	2.15	2	2	2	6					
4										2.45	3	3	3	9					
5	84.92	3.30								3.15	4	4	5	13					
6				粘土質砂礫	暗褐色	中位		礫質土、φ5~20mm(max50mm)の花崗岩風化礫主体、砂分は細砂~粗砂を混入。細粒分は粘土を混入し、粘着力を有する。全体に含水比は湿った程度。所々、粘性土状の土層状。水位(2/9):なし(掘進6.45m、ケーシング1.00m)水位(2/12):5.72m(掘進6.45m、ケーシング1.00m)		3.45	4	4	5	13					
7										4.15	4	4	5	13					
8										4.45	4	3	3	10					
9	81.82	3.10								5.15	4	3	3	10					
10	81.47	0.35								5.45	5	6	11	22					
11				風化砂質泥岩	褐色	極硬い		風化泥岩、粘性土状コア。コアは、砂質粘性土状コアを呈し、やや軟質化進行する風化岩。		6.15	9	7	8	24					
12										6.45	9	7	8	24					
13										7.15	5	12	12	29					
14	76.39	5.08								7.45	5	12	12	29					
15				砂質泥岩	暗緑色	固結		泥岩、固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアはφ60mm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコアで、下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状の部分も確認される。水位(2/13):2.43m(掘進11.33m、ケーシング9.500m)		8.15	14	18	18	50					
16										8.45	16	27	7	50					
										9.15	17	26	7	50					
										9.43	17	28	5	50					
										10.10	18	26	6	50					
										10.33	17	26	7	50					
										11.10	17	28	5	50					
										11.33	18	26	6	50					
										12.10	16	26	8	50					
										12.32	17	28	5	50					
										13.10	18	26	6	50					
										13.32	17	28	5	50					
										14.10	16	26	8	50					
										14.33	17	28	5	50					

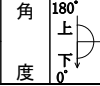
ボーリング柱状図








調査名 第43号

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 大熊町医療・福祉施設、交流ゾーン地質調査業務委託

シートNo.

ボーリング名	BV-7	調査位置	双葉郡大熊町大字大川原字南平地内外			北緯	37° 22' 56.66"		
発注機関	大熊町役場			調査期間	平成31年1月11日 ~ 31年1月16日		東経	140° 57' 37.85"	
調査業者名	庄建技術株式会社 電話(0244-22-6868)	主任技師	紺野雅弘		現場代理人	紺野雅弘	コ鑑定者	紺野雅弘	
ボーリング責任者				佐々木達雄					
孔口標高	89.92m	角			地盤勾配	水平0°		使用機種	試錐機 鉦研OP-1型
総掘進長	16.31m	度			鉛直	90°		ハンマー落下用具	半自動型落下装置
				エンジン	ヤンマーNFAD8型		ポンプ	鉦研MG-5h型	

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	相対稠度	記事	標準貫入試験						原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日			
											深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	深 (m)	深 (m)	深 (m)					深 (m)		
1	88.52	1.40	1.40		盛土(礫混りシルト質砂)	褐灰~暗緑灰	緩い	中位	砂質土、山砂(シルト質砂)、泥岩砕の盛土。不均一で、礫分は泥岩砕でφ5~30mm程度。	1/15	1.15	2	3	4	9	30	9						
2	87.32	1.20	2.60		礫混り砂質シルト	黒褐~暗褐灰	中位	粘質土	シルト主体で、砂分は細砂を混入。1.40~1.55mまで、楕球を若干混入。礫分は、φ5~10mm程度の亜角礫を混入。	1/12	1.46	1	2	2	5	30	5						
3	86.52	0.80	3.40		礫混り粘土質砂	褐~暗褐灰	緩い	砂質土	細砂主体で、礫分は、φ5~10mmの風化礫を混入する。細粒分は粘土を混入し、粘着力を有する。全体に含水比は湿った程度。	1/12	2.15	1	2	2	5	30	5						
4	85.12	1.40	4.80		礫混り砂質粘土	明褐灰	硬い	粘質土	粘質土主体で、砂分は細砂を混入。礫分は、φ5mm程度の風化礫を混入。粘着力を有し、含水比は湿った程度。	1/12	3.15	2	3	2	7	30	7						
5					粘土質砂礫	暗褐灰	中位	砂質土	砂質土。φ5~20mm(max30mm)の花崗岩風化礫主体。砂分は細砂~粗砂を混入。細粒分は粘土を混入し、粘着力を有する。全体に含水比は湿った程度。5m付近、やや含水比高い土層状況。水位(1/11):なし(掘進5.45m、ケーシング1.00m)水位(1/12):4.80m(掘進5.45m、ケーシング1.00m)	1/12	4.15	1	3	4	8	30	8						
6											1/12	4.45	7	7	6	20	30						
7											1/12	5.15	7	7	6	20	30						
8											1/12	6.15	11	8	5	24	30						
9											1/12	6.45	9	7	8	24	30						
10	80.12	5.00	9.80		風化砂質泥岩	褐灰~暗緑灰	極硬い	極硬い	風化泥岩。粘質土状コア。コアは、砂質粘土状コアを呈し、やや軟質化進行する風化岩。	1/12	7.15	9	7	8	24	30							
11	79.12	1.00	10.80		砂質泥岩	暗緑灰	固結	固結	固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~60cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコアで、下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状の部分も確認される。水位(1/15):1.39m(掘進11.45m、ケーシング11.00m)	1/12	7.45	7	7	7	21	30							
12											1/12	8.15	7	7	7	21	30						
13											1/12	8.45	6	7	8	21	30						
14											1/12	9.15	6	7	8	21	30						
15											1/12	9.45	6	10	12	28	30						
16	73.61	5.51	16.31		砂質泥岩	暗緑灰	固結	固結	固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは10~60cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコアで、下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状の部分も確認される。水位(1/15):1.39m(掘進11.45m、ケーシング11.00m)	1/12	10.15	6	10	12	28	30							
											1/12	10.45	24	26	9	50	19						
											1/12	11.10	21	26	3	50	21						
											1/12	11.29	21	26	3	50	21						
											1/12	12.10	19	31	50	20							
											1/12	12.31	17	25	8	50	22						
											1/12	13.10	17	26	7	50	22						
											1/12	13.30	17	26	7	50	22						
											1/12	14.10	18	28	4	50	21						
											1/12	14.32	18	28	4	50	21						
											1/12	15.10	18	28	4	50	21						
											1/12	15.32	18	28	4	50	21						
											1/12	16.10	18	28	4	50	21						
											1/12	16.31	18	28	4	50	21						

ボーリング柱状図

調査名 第43号

ボーリングNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 大熊町医療・福祉施設、交流ゾーン地質調査業務委託

シートNo.

ボーリング名	BV-8	調査位置	双葉郡大熊町大字大川原字南平地内外					北緯	37° 22' 53.86"								
発注機関	大熊町役場					調査期間	平成 31年 2月 2日 ~ 31年 2月 6日					東経	140° 57' 46.09"				
調査業者名	庄建技術株式会社 電話(0244-22-6868)		主任技師	紺野雅弘		現場代理人	紺野雅弘	コ鑑定者	紺野雅弘		ボーリング責任者	佐々木達雄					
孔口標高	86.33m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配	水平0° 鉛直90°		使用機種	試錐機 鉦研OP-1型		ハンマー落下用具 半自動型落下装置			
総掘進長	11.32m	度	0°		向	180°		エンジン	ヤンマーNFAD8型		ポンプ		鉦研MG-5h型				

標尺 (m)	層高 (m)	厚度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験 (掘進月日)				
											深 (m)	10cmごとの打撃回数	20	30	打撃回数 / 貫入量 (cm)				深 (m)	試験名および結果	深 (m)	採取番号
1	86.23	1.10	1.10	硬土 (礫混りシルト質粘土)	暗緑灰	緩い			砂質土、山砂(シルト質砂)、泥岩砕の硬土。不均一で、礫分は泥岩砕でφ5~50mm程度。	2/6 2.51	1.15	2	2	2	6							
2	84.13	1.10	2.20	礫混りシルト質粘土	暗黄褐灰	中位			粘性土。シルト主体で、砂分は細砂を混入。礫分は、φ5~10mm程度の亜角礫を若干混入。	2/6 3.72	2.15	1	1	2	4							
3	83.45	0.70	2.90	砂質粘土	黒灰	軟			粘性土。粘土主体で、砂分は細砂を混入。腐植物を若干混入し、含水比は湿った程度。		3.15	5	5	5	15							
4	82.25	1.20	4.10	礫混り粘土質砂	暗褐灰	中位			砂質土。細砂主体で、礫分は、φ5~10mmの風化礫を混入する。細粒分は粘土を混入し、粘着力を有する。全体に含水比は湿った程度。		3.45	18	15	17	50							
5	80.63	1.60	5.70	粘り砂	暗青灰	密な			硬質土。φ5~30mm(max50mm)の花崗岩風化礫主体、砂分は細砂~粗砂を混入。細粒分は粘土を混入する。全体に含水比は湿った程度。水位(2/6):3.72m(掘進4.0m、ケーシング1.00m)		4.42	13	13	16	41							
6	80.33	0.30	6.00	風化砂質泥岩	暗緑灰	極硬い			風化泥岩。粘性土状コア。コアは、砂質粘土状コアを呈し、軟質化進行は僅かな風化岩。		5.15	16	29	5	50							
7											6.32	19	31		50							
8											7.10	17	28	5	50							
9											7.30	8.32	17	23	10	50						
10											8.10	9.10	18	27	5	50						
11	75.01	5.32	11.32	砂質泥岩	暗緑灰	固結			泥岩。固結度良好な軟岩で、棒状コア採取。コアは25~70cm程度の棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。岩質は、細砂分を全体的に混入する砂質状のコアで、下尺ほど砂分の混入率高くなる。一部、細粒砂岩状の部分も確認される。水位(2/6):2.21m(掘進3.32m、ケーシング6.20m)		10.10	17	26	7	50							
											10.31	11.10	17	26	7	50						
											11.10	11.33				65						

